





場面 7

カブトガニは たつくと ゆみちゃんを  
ジッと みました。

そのめは ながく いきていたからか、  
しろく なっていた けれど、  
にっこりと ほほえむ すがたに、  
ふたりは あんしん しました。

(カブトガニ)

「わしらが くらす アマモの もりは  
きにいって もらえたかな？」

(たつくん)

「はい。たक्सンの おさかなさんが いて  
たのしいです。」

たつくと ゆみちゃんは おおきなこえで  
へんじをしましたが、カブトガニは  
ちよつと こまったような かおになりました。

(カブトガニ)

「たक्सンの おさかなかあ。  
はたして そうかのう。  
どれ ふたりに ちよつと みせてあげよう。」

カブトガニが もっていた つえを バーンと  
うちつけると、あたり いちめん、  
すなが まいあがりました。

そして、すなけむりが、ふわり ふわりと  
もとに もどって いくと――

ぬく

△ 演じ方 △

元気よくこたえる

困ったような表情で